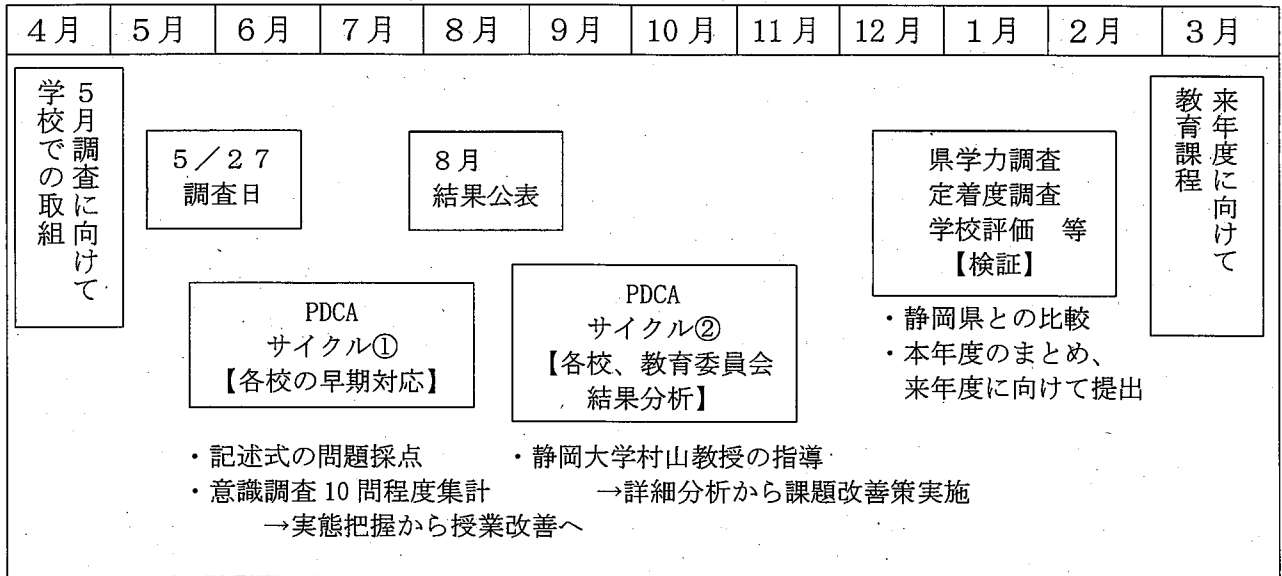


令和3年度全国学力・学習状況調査等を生かした

「吉田町 W-PDCA」改善サイクルについて

吉田町教育員会学校教育課

1 スケジュール



2 早期対応について

- ・例年、課題となる「記述式」の問題の採点及び分析を行う。問題については、教育委員会が決定する。

(令和2年度例)

小学校国語：2問

小学校算数：「量と測定」「図形」「数量関係」2問 ※「数と計算」以外

中学校国語：2問

中学校数学：「関数」「図形」「資料の活用」3問 ※「数と計算」以外

- ・児童生徒質問紙から8問の集計及び分析を行う。なお、この問題については、端末を使用し、定期的に調査を実施する。or 学校評価に取り入れてもらう。(学校との協議)(7月・1月)

【項目】

- ① 国語の授業がわかる → 「わかる」授業実践
- ② 算数の授業がわかる → 「わかる」授業実践
- ③ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる
- ④ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある → 「吉田探究」の推進
- ⑤ 学校でICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用しているか → ICTの積極的な活用
- ⑥ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている → 家庭教育の啓発
- ⑦ 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している → 粘り強く学習に向かう力の育成
- ⑧ 自分で計画を立てて勉強をしている → 学習の自己調整力の育成

3 結果公表後の分析について

- ・静岡大学村山教授の御指導のもと分析を行い、改善策を立てる。

4 検証結果の提出について

- ・12月、1月に実施される県学力調査、定着度調査、意識調査の結果分析を行い、本年度の検証を行う。また、来年度に向けての考察をまとめ、提出する。(書式については、後日提案)